

水稲生産者のみなさまへ

水稲用一発肥料にはプラスチックが使われています

被覆肥料のプラスチック殻を 水田から流出させない 対策をお願いします

被覆肥料は、プラスチック等で肥料をコーティングしているため、肥効の調節が可能です。施肥回数減による軽労化、施肥量の削減、養分の流出防止などの利点がありますが、一方で肥料成分が溶出した後の被膜殻が河川や海へ流出することが問題になっています。

被覆肥料のプラスチック殻は 水田から流出させないようにしましょう！



殻を流さないために



対策のポイント

対策1

浅水代かき

● 均平化

入水前に田面はできるだけ均平にしましょう。

● 畦畔管理

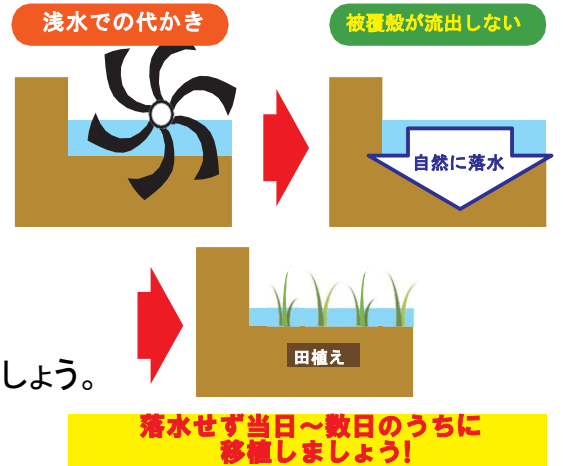
あぜが崩れていないか確認しましょう。
排水口には止水板を設置しましょう。

● 入水量

大部分の地表が見えるぐらい浅めの入水にしましょう。

● 自然落水

移植前の落水は行わず自然落水により水位を調整しましょう。



対策2

捕集ネットの使用

※強制落水を行う場合の対応策です。

1 材料をそろえる

【材料一覧例】

※100円ショップで入手可

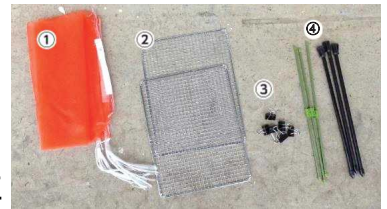
①玉ねぎネット

※ネットの網目は2ミリ以下

②BBQ用の網

③クリップ

④園芸用支柱



2 水尻に設置

藁がネットに詰まることを減らすため、柵を2重にして設置するなどしましょう。

ネットのみ



園芸用の柵



対策3

施肥方法・肥料の見直し

- 土壌診断や栽培暦等に基づく適正施肥を行いましょう。
- 追肥には流し込み施肥を検討しましょう。

- 堆肥や、プラスチックを使用していない緩効性肥料の活用を検討しましょう。

千葉県内でも
実証に
取り組んで
います

- 被覆肥料のプラスチック殻の時期別の流出状況調査を実施しています。
- プラスチックを使用していない緩効性肥料を使用した展示ほを設置しています。



排水口に捕集ネットを設置して被覆肥料のプラスチック殻の流出状況調査を実施している様子